

No	自治体名	施策ジャンル
1	福岡都市圏広域行政事業組合	流域連携 基金事業
2	福岡地区水道企業団	流域連携
3	愛知県 大府市	森林環境譲与税 流域連携
4	長野県 王滝村	森林環境譲与税 流域連携
5	長野県 木曽町	森林環境譲与税 流域連携
6	北海道	ガバメントクラウドファンディング ネーミングライツ(ダムカード)
7	青森県 西目屋村	インフラツーリズム
8	岩手県 奥州市	ガバメントクラウドファンディング グランドデザイン
9	宮城県	ダムカード キャラクターコラボ
10	東京都 水道局	ネーミングライツ 企業寄付 ポータルサイト
11	東京都豊島区・埼玉県秩父市	森林環境譲与税
12	群馬県 みなかみ町	ふるさと納税(ダムイベント)
13	群馬県 長野原町	ふるさと納税(ダムイベント)
14	愛知県 名古屋市	ガバメントクラウドファンディング 流域連携
15	愛知県 岡崎市	企業連携
16	奈良県 川上村	森林環境譲与税 流域連携
17	福岡県	ダム印帳
18	福岡県 那珂川市	企業連携 自治体間連携

現在、260万人を超える人々が暮らす福岡都市圏は、大きな河川がなく、地理的に水資源に恵まれていないため、生活に欠かせない水道水の約3分の1を筑後川から取水している。

圏域の安定的な水道水の供給は、筑後川流域及び水源地域の住民の皆さまのご理解と協力によって保たれていることから、筑後川に感謝し、水を大切にすることを意識を醸成するとともに、森林の保全や河川の清掃活動、水の学習等を通じて、福岡都市圏と筑後川流域及び水源地域の住民の皆さまと交流・連携し、相互理解を深めるための「流域連携基金事業」に取り組んでいる。

■取組概要

①交流推進事業

- ・福岡都市圏と筑後川流域・水源地域の住民との文化・スポーツ等の交流・啓発イベントの実施

②森林保全支援事業

- ・水源涵養機能の維持向上を図るため、間伐や造林作業等への参加・支援（水源ダム集水区域内の水源地域整備に係る費用負担、水源地域での植樹活動等への参加等）

③地域振興支援事業

- ・筑後川流域・水源地域が主催するイベントへの参加・支援

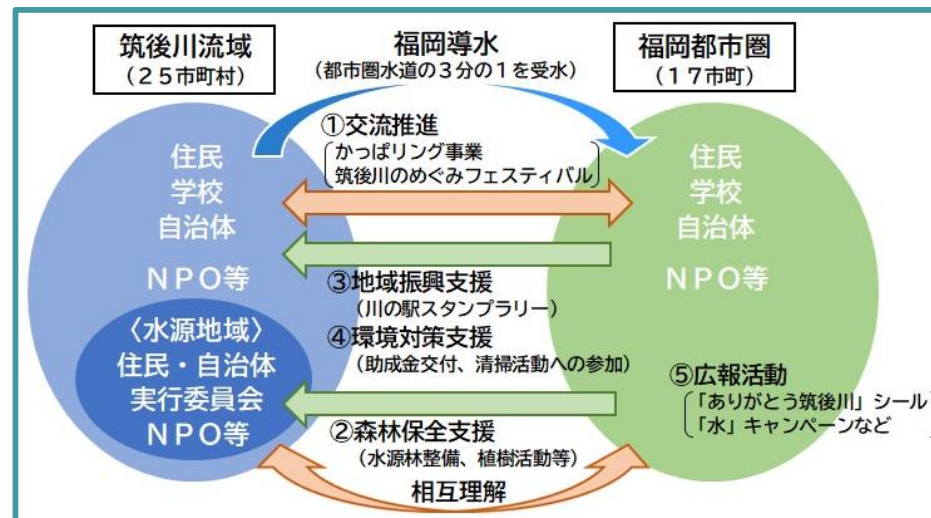
④環境対策支援事業

- ・筑後川流域・水源地域で環境保全活動を行う団体への助成金交付
- ・筑後川流域・水源地域での清掃活動への参加

⑤広報活動

- ・筑後川流域・水源地域の相互理解のための広報（「水の週間」に実施する「水」キャンペーンで住民に周知等）

■連携イメージ



■財源

- ・基金設立当時の筑後川からの年間受水量に、1 m³あたり1円で換算し、10年間基金積立を行った。
- ・年間積立額の半分を事業費として支出

■関連URL

<https://www.fukuoka-tosiken.jp/fundbusiness/>

■担当部署

部署名：福岡都市圏広域行政事業組合
連絡先：092-733-5004 fukuokatoshiken@nifty.com



福岡地区水道企業団設立50周年記念事業「ありがとうの森プロジェクト」

筑後川の恵みへの「理解と感謝」を広げたい。

- 水源にめぐまれない福岡都市圏約260万人の暮らしを支えるため、圏外の筑後川からの導水を行う事業主体として昭和48年に企業団が設立された。
- 福岡都市圏の水道水の約3分の1が筑後川の水ということを知っていただき、そこから生まれる水源地域への感謝の気持ちを目に見える「ありがとうのメッセージ」として水源地域に届けるプロジェクトを実施。



■取組概要

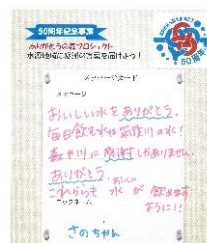
筑後川の恩恵を受ける福岡都市圏の水事情を知る機会の創出とメッセージの呼びかけ

- 連続講座（全4回）
『考えてみよう！
ふくおかの「水」のこと』

- 福岡市の小学校での
「こども水道教室」
(福岡市水道局主催)

- 福岡工業大学附属城東高等学校×福岡女子商業高等学校との
合同プロジェクト「筑後川へのありがとうを集めよう！」

講座受講者からの
メッセージ



こどもたちからの
メッセージ



☆トークイベント
(博多駅前広場)



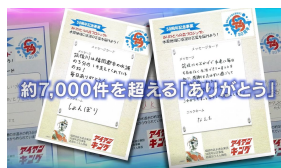
☆街頭キャンペーン
(天神地下街1番街
イベントコーナー)



☆城東高校文化祭
「ありがとうを集めよう」コーナー



福岡都市圏から**7,069件**の
「ありがとうのメッセージ」が
寄せられました



■連携イメージ

- 令和5年10月14日に開催した「福岡地区水道企業団設立50周年記念式典」において、感謝の言葉を茂らせた「ありがとうの木」が「ありがとうの森」となってステージ上に展示



福岡都市圏からの感謝のメッセージは、
水を育む苗木などの緑を添えて水源地域へ贈呈



水源地域での取組み

贈呈した苗木などの緑を
植樹活動などに活用



水源地域への発信

「ありがとうの森」のパネルを
水源地域の自治体に設置



■関連URL

<https://www.f-suiki.or.jp/>

■担当部署

部署名：福岡地区水道企業団 総務課
連絡先：(092) 552-1731 メール：solumuka@f-suiki.or.jp



愛知県大府市の取組（長野県王滝村、木曽町との連携）

大府市は、愛知用水の水源である木曽川水系上流域で、牧尾ダムを有する長野県王滝村、木曽町と「水源の森林の保全・育成に関する連携協定」を令和5年7月に締結。森林環境譲与税を主な財源に3自治体及び民間事業者と連携し、木材の利用及び利用促進、水資源の涵養及び水源の森林の保全・育成の啓発、木育の推進、木材の利用を通じた脱炭素の啓発を推進している。



■取組概要

木材の利用及び利用促進



- ・児童老人福祉センターに多世代の憩いの場として木質空間を整備（R6）
- ・王滝村、木曽町の木材業者と大府市の民間事業者とのマッチング（R5～）

木育の推進



- ・木曽町の民間事業者と連携した木育イベントの開催（R5）
- ・こどもの屋内遊戯施設の整備検討

水資源の涵養及び水源の森林の保全・育成の啓発



- ・宿泊施設利用料金助成事業（R5～）
- ・イベントへの相互出展（R5～）
- ・王滝村支援森林間伐ボランティアバスツアー（H27～）

木材の利用を通じた脱炭素の啓発



- ・王滝村、木曽町のJクレジットによるカーボンオフセットの普及

■連携・施策イメージ



■関連URL

<https://www.city.obu.aichi.jp/shisei/koho/pressrelease/1003447/1026844/1027885.html>

■担当部署

部署名：大府市企画広報戦略課
連絡先：（0562）45-6212 メール：kikaku@city.obu.lg.jp

王滝村の森林は全面積の96%を占め、木曽川流域の重要な水源のひとつである牧尾ダムの水源地となっています。この木曽ひのきを有する森林は、古くから多くの人々の手によって育まれ「水源の森」を守ってきました。ただ村の財政事情や人口減少等もあり、今後も大切な森林を守り続ける道を模索してきました。一つの道として「牧尾ダム水源の森づくりパートナー協定」という形をつくり、森林づくりを継続しています。

■ 取組概要

- 王滝村では大府市職員互助会と平成22年に「牧尾ダム水源の森づくりパートナー協定」を締結しており、大府市が村を訪れ、間伐や枝打ちなどの環境整備をしたり薪割りの体験など通じて交流を続けてきています。



間伐作業の様子

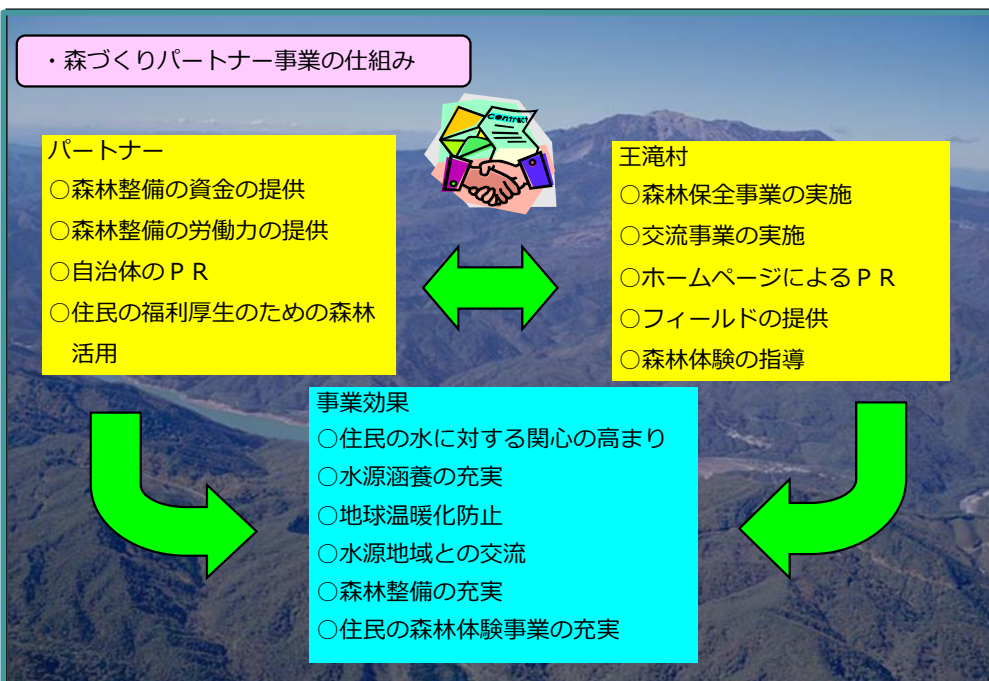
現在4団体との協定を結んでおり、森林整備に対する支援として協力金の納入や上下流交流活動を通じて、森林と水の保全についてのPR活動等を実施しています。



薪割りの様子

- 令和5年7月に愛知用水の水源地となっている木曽川上流域の長野県木曽町、王滝村と、下流域の愛知県大府市の3市町村で「水源の森林の保全・育成に関する連携協定」を結びました。
- 令和5年度よりJクレジットの取組を開始しました。

■ 連携・施策イメージ



■ 関連URL

<https://www.vill.otaki.nagano.jp>

■ 担当部署

部署名：長野県 王滝村役場 企画・観光推進室
連絡先：（0264）48-2001 Eメール：kikaku@vill.otaki.nagano.jp
LGメール：kikaku@vill.nagano-otaki.lg.jp

長野県木曽町は、長野県の南西部に位置し、476.03km²と県内町村では最大の面積を有し、そのうち森林が90%を占める緑豊かな山間の町です。一級河川木曽川の上流域として、中京圏の水源地の役割を果たしています。

下流域からの支援による森林整備や、公共施設を中心に木曽産材を活用するなど、森林資源の活用を図ってきました。

今後、木曽町・木曽地域の一大林業地化を目指し「木の産業づくり」に取り組めます。

従来から行ってきた森林整備を更に進め、林業の6次産業化を目指しながら、きれいな水を下流域へ供給し続けます。

■概要

○木曽川を通じた上下流交流

- ・愛知県大府市、王滝村 水源の森林の保全・育成に関する連携協定(R5.7)
王滝村で伐採された木材を木曽町で加工し、大府市の施設で利用
- ・愛知中部水道企業団と木曽広域連合「水源の森」森林整備協定(H15.2)
水道利用量に応じた基金積立からの拠出助成により、上流である木曽地域の森林整備を推進 市民による森林整備

○Jクレジットの販売

- ・森林整備により吸収した温室効果ガス吸収量を、排出削減に取り組む自治体・企業に販売(販売実績306t-co2)
愛知県春日井市(廃棄物収集車両の排出分)
ノルディック複合 渡部暁斗選手(競技活動における移動排出分)
愛知県立南陽高校(Nanyo Company部)(寄付型オフセット)



○木育の推進

- ・ウッドスタート(生後3ヶ月で木製お椀・スプーン、1歳で木製玩具をプレゼント)や木曽おもちゃ美術館による幼少期から木育推進

○地域材を活用した加工施設

- ・ヒノキ化粧合板を活用した木工拠点施設の整備



○高付加価値化と全木利用

- ・伐期を迎える豊富な森林資源を「80年サイクル」で安定供給
- ・強度がある木曽カラマツのブランド確立
- ・建築材、集成材・合板材、バイオマス材など販路を拡大し全木利用

○確実に再生造林につなげ、若齢級の森林を増加

- ・徹底した低コスト造林(下刈や間伐の頻度縮減)を目指す

■連携イメージ



■関連URL

<https://www.town-kiso.com/chousei/kouhou/100280/101900/>

■担当部署

部署名: 木曽町役場 建設農林課 農林係
連絡先: 0264-22-4286 メール: rinmu_tk@town.kiso.lg.jp

- 北海道では、民間資金を活用した取組として、令和3年度に北海道が管理するダムのダムカードリニューアルを、ガバメントクラウドファンディング（ふるさと納税型クラウドファンディング）により実施。
- また、ダムネーミングライツ（愛称命名権）事業を実施、令和2年から募集を開始し、現在6ダムでスポンサー企業と契約し、その収入をダム管理費に充当している。

■取組概要

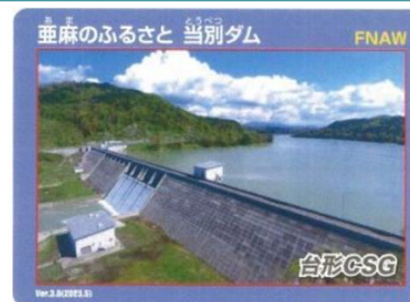
《クラウドファンディング》

- 対象施設：北海道が管理する18ダム
- 目標金額：150万 → 達成
※個人・企業等117件、164万6千円の寄附があった。

《ネーミングライツ》

- 対象施設：北海道が管理する15ダム
- ネーミングライツ料：年間30万円（税抜）以上
- 契約期間：原則3年以内（延長可能）
- スポンサー対象企業：
公共施設のネーミングライツスポンサーとして、ふさわしい法人その他団体（個人不可）
※募集要項で規定
- スポンサーメリット：
 - （1）ダム敷地内において、名称看板の設置
 - （2）愛称を掲載したダムカードの作成も可能

■連携・施策イメージ



- ・ 愛称を掲載したダムカードの配布



- ・ 名称看板の設置

■関連URL

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/gzs/fm/namingrights/dam.html>

■担当部署

部署名：北海道 建設部 建設政策局 維持管理防災課 事業調整係
連絡先：（011）204-5650 メール：kensetsu.kenbou@pref.hokkaido.lg.jp

- 部署名：西目屋村 企画財政課
連絡先：0172-85-3080 メール：nishimeya-kikaku@vill.nishimeya.lg.jp

胆沢ダム・奥州湖周辺エリアは、カヌー競技におけるJOC認定競技別強化センターに認定された「奥州いさわカヌー競技場」をはじめ、豊かな自然や地域資源を有するアウトドアフィールドである。

奥州市では、令和6年3月に「奥州湖周辺エリア活用整備構想」を策定し、滞在型・体験型観光の促進による交流人口の拡大を目指し、パドルスポーツや登山、サイクリングなどのアウトドアアクティビティのメニュー構築とガイド人材の育成などを推進することとしており、今後、この構想の具現化に向けて計画的に取り組みを進めていく。

■取組概要

1. 奥州湖周辺エリア活用整備構想

本構想に基づき、アウトドアツーリズムのモデルルートの構築をはじめ、効率的な情報集約・発信、事業者間の連携促進、体験メニューの企画・販売などの役割を担う統括的な窓口機関となる組織づくりなどについて、行政、民間事業者、地域等での役割分担や連携により取り組むこととしている。

2. ふるさと納税型クラウドファンディング

令和4年度から5年度まで実施し、2年間で約3億8千7百万円の寄附をいただき、カヌー競技の運営経費や奥州湖周辺エリアの環境整備等に活用したほか、令和6年度以降の奥州湖交流館のリニューアルや奥州湖周辺エリアへの誘客に資する取り組みに活用していく。

3. ウォーターアクティビティのメッカ

胆沢ダム管理支所の協力のもと、常時安定した水量に調節された奥州カヌー競技場は、毎年カヌー・ジャパンカップの会場地となるなど、パドルスポーツのフィールドとして国内トップクラスの環境が整っており、オンシーズンの週末は、パドルスポーツやラフティングを目的に、東北管内からを中心に多くの方が訪れている。

また、地域おこし協力隊OBがカヌー・ジュニアクラブを立ち上げるなど、地域の子供たちに対するパドルスポーツの普及を進めている。

4. 奥州湖交流館の再整備

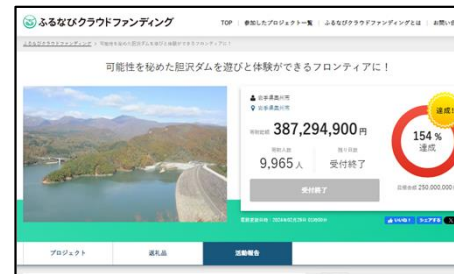
現在、胆沢扇状地の自然、歴史文化の学習や体験活動、交流拠点である奥州湖交流館を、奥州市のアウトドアツーリズムの重要拠点として位置づけ、併せてトレーニングジムやレクチャールームなどの設置によるカヌー競技のトレーニングセンターとしての機能強化に向けた再整備を行う。

（令和8年度リニューアルオープン予定）

5. ㈱モンベルとの包括連携協定

令和5年4月に㈱モンベルと包括連携協定を締結し、モンベルフレンドタウンに登録。今後、ジャパンエコトラックの登録に向けた周遊ルートの開発や体験型プログラムの充実など、連携した取組を推進する。

■連携・施策イメージ



奥州湖周辺エリア振興に関するクラウドファンディング



カヌー・ジャパンカップの様子



胆沢ダムフェスにおける堤体登山の様子



㈱モンベルとの包括連携協定

■関連URL

<https://www.city.oshu.iwate.jp/soshiki/2/1003/9/12382.html>

■担当部署

部署名：奥州市政策企画部政策企画課

連絡先：（0197）34-2125 メール：seisaku@city.oshu.iwate.jp

■ 取組概要

- 宮城県では、ダムを観光資源として活用するダムツーリズムを推進しており、ダムツーリズムを通じて、治水上重要な役割を担っているダムについてより理解を深めていただいています。
- ダムツーリズムの一環として、ダムカードを配布しており、特定期間においては、「プレミアムダムカード」として季節の写真にホログラム加工を施した特別なカードを配布しています。
- プレミアムダムカードの配布は地域と連携したイベントになっており、ダム付近の協力店舗で提示すると食事代割引等のサービスが受けられます。

■ プレミアムダムカードを活用したイベントの概要

(1)対象ダム：仙台環境開発大倉ダム、パシフィックコンサルタンツ長沼ダム、花山ダム

(2)実施期間：春・夏・秋 各1ヶ月程度

(3)イベントの流れ

①イベント対象ダムに設置している“ラプラスパネル”と一緒に写真を撮影



②それぞれの配布場所で写真を確認してもらい、プレミアムダムカードをゲット



③プレミアムダムカードを協力店舗に提示するとサービス（食事代割引等）が受けられる



※宮城県と株式会社ポケモンとの包括連携協定により、「ラプラス」がみやぎ応援ポケモンに任命されています。

■ 関連URL

<https://www.pref.miyagi.jp/site/lapras-plus-dam/>

■ 担当部署

部署名：宮城県 土木部河川課

連絡先：022-211-3182 kasen-da@pref.miyagi.lg.jp

- ▶ 東京都水道局は、多摩川の安定した河川流量の確保と小河内貯水池(奥多摩湖)の保全を図るため、多摩川上流域の東京都と山梨県に広がる約25,000ha の森林を水道水源林として管理
- ▶ 将来にわたって適切な水源地の保全を行っていくため、様々な主体と連携した森づくりを進めており、企業と連携した取組として「東京水道～企業の森(ネーミングライツ)」・「企業協賛金制度」を平成29年度より実施
- ▶ 令和4年3月に、水道水源林に特化したポータルサイト「みずふる」を新設し、継続的に運営

■ 企業と連携した森づくり

東京水道～企業の森(ネーミングライツ)



(森林保全体験の様子: 左、間伐作業 右、下刈作業)

- ▶ 水道水源林の一部にネーミングライツを設定
- ▶ 企業が協定エリアで森林保全体験等を実施
 - 金額 .. 年間50万円 / ha
 - 面積 .. 2～3 ha / 区画
 - 期間 .. 3年間
 - 参画企業 .. 12社 (令和6年3月1日現在)

企業協賛金制度

- ▶ 企業からの協賛金を、水道水源林の保全育成等に活用
- ▶ 水道局HP等で協賛企業名を公表
 - 金額 .. 1口10万円
 - 期間 .. 1年間
 - 協賛企業 .. 15社 (令和6年3月1日現在)

■ 水道水源林ポータルサイト「みずふる」



(「みずふる」トップページ)

様々な方が、いつでも、どこでも、水道水源林の魅力に触れ、楽しめるコンテンツを用意。

【コンテンツ例①:動画の配信】

- ▶ 水源林を登山者目線で楽しめる散策動画、水道局職員による水源林の解説動画等を配信



(解説動画の例)

【コンテンツ例②:掲示板】

- ▶ 水源地の風景や生き物などの情報発信や、小学生からの水道水源林に関する質問への回答など、様々なトピックスを作成

■ 関連URL

<https://www.mizufuru.waterworks.metro.tokyo.lg.jp/>

■ 担当部署

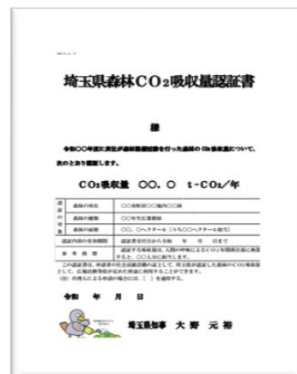
部署名: 東京都水道局浄水部浄水課
連絡先: 03-5320-6447 minnanomori@waterworks.metro.tokyo.jp

- 森林環境税及び森林環境譲与税は、森林の有する公益的機能の維持増進の重要性に鑑み、市町村及び都道府県が実施する森林の整備及びその促進に関する施策の財源に充てるため、創設。
- 森林環境譲与税を活用し、都市部自治体が、友好都市や上下流等の関係にある上流自治体の森林整備費用の負担や、木材利用の推進など、様々な形で活用されている。

埼玉県秩父市・東京都豊島区の実践（荒川流域）

姉妹都市である東京都豊島区と「豊島区と秩父市の森林整備の実施に関する協定書」令和元年7月締結

- ◆ 秩父市が豊島区の森林環境譲与税により秩父市が所有する森林を「としまの森」(面積1.89ha)として整備
- ◆ 豊島区が「としまの森」を活用し豊島区民を対象とした環境交流事業を実施
 - ・ 秩父市：市有林の有効活用、森林整備の推進
 - ・ 豊島区：埼玉県の認証を活用したCO2排出量の削減、区民の環境教育の推進

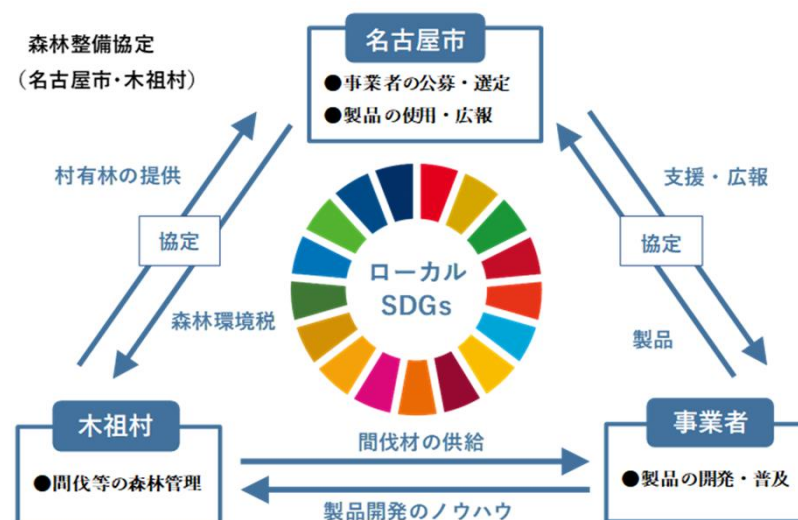


出典：埼玉県HP
<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0905/co2ninsyou.html>

長野県木祖村・愛知県名古屋市の実践（木曽川流域）

「名古屋市・木祖村交流の森」整備協定
 令和4年6月締結

- ◆ 地域資源を活用し都市と地方が補完し支えあう「地域循環共生圏（ローカルSDGs）」の形成をめざし、名古屋市の水源地の一つである木祖村と協定を締結し、森づくり事業、木材の利用促進事業を進める



みなかみ町では、奥利根地域にある3つのダム（藤原ダム・奈良俣ダム・矢木沢ダム）で年に一度、洪水期を迎える前に放流設備が安全に作動するか確認するため「点検放流」が行われる。この点検放流をダムの機能や役割に触れることができるイベントとして実施しており、「関東の水がめ」とも呼ばれる3つのダムそれぞれの特徴ある点検放流は春の風物詩となっている。また、通常時は入ることができない堤体内や施設の見学、各設備や構造のガイド等も実施。参加には参加券の購入・車でのご来場については駐車券の購入が必要であり、ふるさと納税の返礼品や提携宿泊施設への宿泊による参加券・駐車券の取得も可能となっている。

■令和6年度実施概要

・開催日

令和6年5月18日（土） 藤原ダム・奈良俣ダム

令和6年5月19日（日） 矢木沢ダム

・参加方法

駐車券と参加券の一般販売をセブンチケットにて実施。

※矢木沢ダムの午前中の放流は、「みなかみ町内の提携宿泊施設の「ダム優先入場宿泊プラン」にお泊りの方」と「ふるさと納税の返礼品として優先参加券を選択された方」のみに限定し、プレミアム感を演出。



■ふるさと納税の活用

寄付金額に応じて、5月19日開催の矢木沢ダム駐車券・

優先参加券を3種類、返礼品として準備し、提供。

・矢木沢ダム駐車券・優先参加券（2名分）

・矢木沢ダム駐車券・優先参加券（3名分）

・矢木沢ダム駐車券・優先参加券（4名分）

実績

・申込件数：66件（159名分）

ふるさと納税
返礼品として掲載▶



■事業実績

・チケット販売数

駐車券

藤原ダム：318枚 奈良俣ダム：333枚

矢木沢ダム：550枚

（うち、ふるさと納税 66枚 提携宿泊 130枚）

参加券

藤原ダム：725枚 奈良俣ダム：789枚

矢木沢ダム：1,413枚

（うち、ふるさと納税 159枚 提携宿泊 308枚）

・来場者数

藤原ダム：717人 奈良俣ダム：750人

矢木沢ダム：1,379人



▲矢木沢ダム点検放流



▲ホロージェットバルブ体感



▲堤体内見学コース

■関連URL

<https://www.enjoy-minakami.jp/3dam>

■担当部署

部署名：みなかみ町 観光商工課

連絡先：（0278）25-5017 メール：office-kanko@town.minakami.gunma.jp

- 長野原町では、イベント等の事業における資金調達の手法として、ふるさと納税を活用。
- ハッ場ダム の点検放流に合わせ、長野原町・東吾妻町共同主催による一般向け放流イベントを実施。両町においてふるさと納税を活用し、見学のための限定入場チケットをふるさと納税の返礼品とし、イベントの運営資金として活用。

■ 取組概要

■ ハッ場ダム放流イベント・返礼品概要

- 日時：令和6年5月25日（土）
- 主催：ハッ場ダム放流イベント実行委員会
（会長：長野原町長、副会長：東吾妻町長）
- 参加者：
午前：一般向け196名
（プレミアムコース47名、一般コース149名）
午後：町民向け286名（長野原町83名、東吾妻町203名）
※ 人数は、いずれも申し込み者数
- 一般向けコース内容（午前）
長野原町では、ふるさと納税返礼品として、プレミアムコース・一般コースを用意
寄付額5,000円～100,000円までの全8プラン
- 町民向けコース内容（午後）
ダム放流 1 回見学（エリアの限定なし）+ 発電所見学（希望者先着順）
- 利用サイト：ふるさとチョイス等

■ ふるさと納税チラシ



長野原町

体験型ふるさと納税
ハッ場ダム 第2回 放流イベント

開催情報
開催日：令和6年5月25日（土）
開催時間：裏面をご確認ください
開催場所：ハッ場ダム下流荒地
入場方法：ふるさと納税返礼品にて入場券を取得

※ 本イベントは、ふるさと納税の返礼品となります

※ 入場券につきましては、一般販売は行わずふるさと納税返礼品のみの提供となりますのでご了承ください。

寄付はこちら（ふるさとチョイス「長野原町」ページ）：
<https://www.furusato-tax.jp/city/product/10424>
（受付締切：令和6年 2月29日）

※ 内容が変更となる場合がございます
※ 雨天等中止となった場合は返金は出来ませんのでご了承ください

選べるコースとプラン

プレミアムコースのご紹介	一般コースのご紹介
ダム放流 2 回見学 + 発電所・右岸サイトへ入場 開催時間 9:00-12:15 プレミアムコースのプラン ※3歳以下は入場券を必要としません 寄付額 100,000円プラン 5種 駐車場あり - 特等入場券 1枚 - 川原湯温泉観光バス乗車券 10,000円 - 緑地内ガイドツアー - ダムサイト駐車場 利用 - 長野原町感謝券 10,000円 寄付額 50,000円プラン 3種 駐車場あり - 特等入場券 1枚 - 緑地内ガイドツアー - ダムサイト駐車場 利用 - 長野原町感謝券 5,000円 寄付額 40,000円プラン 2種 駐車場なし - 特等入場券 1枚 - 緑地内ガイドツアー - 長野原町感謝券 4,000円 寄付額 30,000円プラン 2種 駐車場あり - 特等入場券 1枚 - ダムサイト駐車場 利用 - 長野原町感謝券 2,000円 寄付額 20,000円プラン 1種 駐車場なし - 特等入場券 1枚 - 長野原町感謝券 1,000円	ダム放流 1 回見学 開催時間 10:40-12:15 一般コースのプラン ※3歳以下は入場券を必要としません 寄付額 10,000円プラン 3種 駐車場あり - 入場券 1枚 - ハッ場ダム駐車場 利用 寄付額 8,000円プラン 2種 送迎あり - 入場券 1枚 - JR川原湯温泉駅から 車送迎 寄付額 5,000円プラン 1種 駐車場なし - 入場券 1枚

長野原町と東吾妻町の両町民限定の放流イベント
長野原町と東吾妻町の両町民限定の放流イベントは、当日午後1時以降の限定放流イベントを予定しています。詳細お知らせは後日となります。

お問合わせ：長野原町役場 未来ビジョン推進課
0279-82-2229

■ 関連URL

<https://www.town.naganohara.gunma.jp/www/index.html>

■ 担当部署

部署名：長野原町 未来ビジョン推進課
連絡先：（0279）82-2229 メール：suigen@town.naganohara.gunma.jp

名古屋市は木曽三川流域の中でも下流に位置し、良質な水源水質と上中流域での森林の整備・保全の取り組みにより安心・安全でおいしい水道水を供給することができている。木曽三川流域の豊かな水環境を大切な未来へつないでいく取り組みを支援するために、ガバメントクラウドファンディング(GCF)を通して、寄附金を募集した。

■ガバメントクラウドファンディング(GCF)とは

自治体が抱える課題解決のため、ふるさと納税の寄附金の「使い道」をより具体的にプロジェクト化し、そのプロジェクトに共感した方から寄附を募る仕組み。



■寄附金の活用事例

・水環境保全活動のため資材購入

木曽三川流域の自治体が水環境保全活動のために使用する資材(チェーンソー、間伐材を使用したベンチ等)を購入し、木曽三川流域の自治体に寄贈。



水環境保全活動のための資材購入

・商談会

上中流域の生産者と下流域の仕入れ企業との商談の場を提供する商談会を開催。



商談会

・木曽三川流域フォトコンテスト

木曽三川流域内での写真を対象としたフォトコンテストを実施。



木曽三川流域フォトコンテスト

・木曽三川流域連携シンポジウム

流域の住民向けイベントとして講演やパネルディスカッション等を行うシンポジウムを開催。



木曽三川流域連携シンポジウム

■寄附結果

○最終寄附金額

3,464,000円

(目標金額:3,450,000円)

達成率

100.4%

支援人数

90人

目標達成日数

8日

※募集期間:9/19~12/15

■広報(PR)手法

チラシ、局公式X(旧:Twitter)、記者発表においてGCFの実施を広報



▲チラシの作成



▲X(旧:Twitter)での呼びかけ

■担当部署

部署名:名古屋市上下水道局連携推進課

連絡先:052-972-3720 renkei@jogesuido.city.nagoya.lg.jp

- 水道事業に携わる企業においても自らの事業継続には「水」は必須であり、水源保全に対するCSR活動の意欲が高まりを見せている。
- 岡崎市は、12の水道事業関連企業と公民連携し、水道水源林の育成、管理を行う活動やその大切さを伝える啓発活動を「未来へつむぐ岡崎の水プロジェクト」と名付け取組んでいる。

■取組概要

<未来へつむぐ岡崎の水プロジェクト>

9の水道事業関連企業との連携

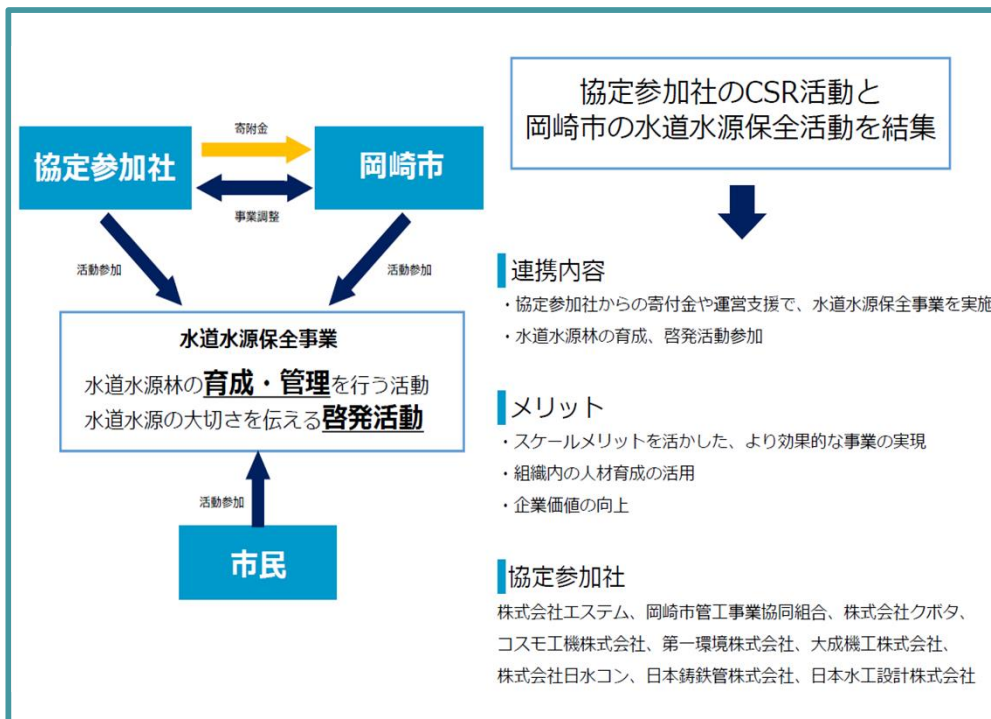
- ◆ 岡崎市の水道水源の保全に向けた事業連携に関する3年間の協定を締結
- ◆ 3年ごとに協定を締結し、プロジェクトを継続(第1期令和2年9月から 第2期令和5年9月から)
- ◆ 協定参加者からの寄付金や運営支援によって水道水源保全事業を実施
- ◆ 水道水源保全事業は協定参加者によって活動内容を決定し、職員・社員・市民が参加
- ◆ 各社が行っているCSR活動と岡崎市の水道水源保全活動を結集することで、スケールメリットを活かしたより効果的な事業を実現

これまでの取り組み

- ・ 間伐体験会 7社 11名 ・ 乙川源流清掃 11社 28名
- ・ 活動場所を選定するための水道水源周辺調査 2回 計43名
- ・ 水源保全活動のための安全講習 2回 計42名



■連携イメージ



■関連URL

<https://www.city.okazaki.lg.jp/1550/1573/2040/p028863.html>

■担当部署

部署名：岡崎市上下水道局 経営管理課企画調整係
連絡先：0564-23-7565 keieikanri@city.okazaki.lg.jp

川上村は、川の最源流に位置することに着目し、"水源地の村づくり"に取り組んでいる。村の理想像として「川上宣言」を掲げ、都市とは違う価値の提供を続けている。源流の危機は国土の危機であることを強く意識し、できるだけ自然の近くに人の営みを維持させることは、国土の保全につながるとして、流域圏を中心にしながら、多様なキーパーソンと共に村づくりを展開している。

■取組概要

<紀の川流域間の連携>

- ・ 最下流 和歌山県和歌山市との連携
「水源地保護に関する協定」を締結。
「和歌山市民の森づくり」や小学校同士の交流事業を展開。
- ・ 流域ブランド「紀の川じるし」の展開
川の恵みを実感してもらうため、第一次産業に着目し、ブランド化。
ホテル杉の湯において、流域の恵みを使った「夜カフェ」開催中！
- ・ ESD(持続可能な開発のための教育)の推進
流域の小学校を中心に授業実践をお手伝い。川上村の地域資源を教材化し、「水のめぐみ」や「森林環境」に着目した授業づくりを支援。
- ・ 森林環境譲与税の上下流連携
令和4年2月、田原本町と川上村との森林整備等に関する連携協定を締結。
田原本町の森林環境譲与税を活用し、川上村の森林整備並びに青少年教育事業を実施。



■連携イメージ

資源の保全を大前提として、様々なプレイヤーによる協働を進める。持続性担保の為、様々な価値づけを行う。



■関連URL

<https://www.vill.kawakami.nara.jp/source/>

■担当部署

部署名：川上村水源地課
連絡先：suigenchi@vill.nara-kawakami.lg.jp

- 連絡先：(092) 643-3205 メール：mizutai@pref.fukuoka.lg.jp

那珂川市は、福岡県最大の総貯水量を誇る五ヶ山ダム周辺に、ダムを一望できるデッキを備えた施設や、キャンプ場、川遊びができる公園を整備している。この3つの施設を中心としたダム周辺のエリアを「五ヶ山クロス」と呼び、自然環境を活かした地域振興に取り組んでいる。また、(株)モンベルによる五ヶ山ダム湖面を活用したカヤック体験や、サイクリング等を実施している。

そのほか、五ヶ山ダム湖面内に県境があり、隣接する佐賀県吉野ヶ里町と観光振興に関する連携協定を締結。また互いに隣接しあう福岡市早良区および福岡市子ども未来局、佐賀県吉野ヶ里町との4者連携協定を締結している。水源地域周辺の市町で県を超えて連携し、様々な取組を実施している。

■取組概要

【水源地域の主な施設の紹介】

- ① 五ヶ山クロス（五ヶ山ダム周辺地域の総称）
・「五ヶ山クロスベース」「モンベル五ヶ山ベースキャンプ」「リバーパーク」の3つの施設を中心としたエリア。

■ 五ヶ山クロスベース

五ヶ山ダムや周辺の山々を一望できる展望デッキを備える五ヶ山クロスの拠点。施設には、「モンベル福岡五ヶ山店」と、カフェ「TRAIL」が入居している。

■ モンベル五ヶ山ベースキャンプ

(株)モンベルホールディングスが指定管理者として管理運営しているキャンプ場。

■ リバーパーク

五ヶ山ダム直下にある川遊びができる公園。夏場は家族連れでにぎわう。

【水源地域における取組内容】

- ① トレイルランニング大会の実施
② マルシェイベントの実施
③ バスツアーの実施
④ 周辺事業者、団体との連絡会議の実施（五ヶ山クロスネットワーク会議）
毎年2～3回実施。各施設・事業者の近況報告や、ネットワークの構築を目的として実施。

■関連URL

<https://www.city.nakagawa.lg.jp>

■担当部署

部署名：那珂川市 地域振興課

連絡先：(092)408-8729 メール：kankou@city-nakagawa.fukuoka.jp

■連携イメージ

【(株)モンベルとの連携】

- ・包括連携協定を締結（平成29年3月）
- ・モンベル五ヶ山ベースキャンプの指定管理者（平成31年度～）
- ・五ヶ山クロスベースヘテナント出店（福岡五ヶ山店）（平成31年3月～）
- ・アウトドア体験イベントの実施（モンベル・アウトドア・チャレンジ）
→ 五ヶ山ダム湖面でのカヤック体験、登山講習、地図読み講習、五ヶ山ダム周辺サイクリング、星空観察会、クライミング体験 等

【吉野ヶ里町との連携協定について】

- ・観光振興に係る情報共有及び情報発信に関すること
→ 互いの広報誌に情報を掲載し合う。また、作成する観光パンフレットなどに情報を掲載している。令和元年度には情報誌「まるっと那珂川・吉野ヶ里」を作成。
- ・観光振興に係る行事・イベントの連携

【4者連携協定について】

- ・連携先：福岡市早良区、福岡市子ども未来局、佐賀県吉野ヶ里町
- ・連携目的：互いに背振山系の豊かな自然を有し、隣接していることから情報発信や観光資源を有効活用する。
- ・取組内容：特設HPの開設、愛称の決定・ロゴの作成、互いの広報誌へ情報掲載、イベント開催、月に1度の定例会の実施。



広域連携特設HP
(早良区)



4者連携ロゴ



トレイルランニング
大会の様子



カヤック体験会